

令和6年度 指定管理者総合評価表(評価対象年度:令和5年度)

令和5年度事業に係る事業報告書等に基づき、指定管理者による管理運営状況について確認、検証した結果、下記のとおり評価しました。

施設名	道の駅津かわげ
指定管理者	新三商事株式会社
指定期間	平成28年4月24日～令和8年3月31日
施設の設置目的	本市の特産品等の展示・販売、地域資源等の情報発信を行うとともに、道の駅を交流・連携、休憩の場として提供することにより、本市の魅力発信、地域の活性化、道路利用者の利便性の向上につなげる。 また、地域の防災拠点として活用することにより、地域の防災機能の充実を図る。
指定管理者の業務	(1) 本市の特産品等の展示・販売、情報発信のための企画・運営に関する業務 (2) 交流・連携の場として提供する企画・運営に関する業務 (3) 防災拠点として活用される場合の支援・協力 (4) 道の駅施設・設備器具等の維持管理
評価担当部課 (問い合わせ先)	河芸総合支所地域振興課産業振興・環境担当(電話059-244-1706)

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
管理状況について	適正な人員配置	適正な人員配置を行っていた。	○
	従事者の教育・研修	職場内で研修を定期的実施するなど、接客及び安全衛生等に関する指導が行われていた。	○
	関係法令の遵守	関係法令は遵守されていた。	○
	緊急時等の対応	緊急時のマニュアルを作成し、定期的な訓練を実施していた。	○
	備品等の管理	点検・整備も行われており、適切に管理されていた。	○
	個人情報保護	津市個人情報保護条例に基づき適正に実施された。	○
	施設・設備の保守点検	施設・設備の保守点検を適切に行っていた。	○
	清掃業務	清掃業務を適切に行っていた。	○
	警備業務	警備業務を適切に行っていた。	○
	環境への配慮	冷暖房の省エネ設定の徹底に努めていた。	○

	報告書等の整理及び提出	各種報告書等は整理されており、協定書に基づき期限内に提出された。	○
運営状況について	利用状況	来客数 令和2年度 752,752人 令和3年度 728,339人 令和4年度 748,305人 令和5年度 759,915人 来客数は増加傾向だが、コロナ禍前の水準までには回復していない。	○
	利用者満足度の向上	常時、お客様の声BOXを設置し、ご要望とともに毎月会議にて満足度向上について話し合っている。	○
	地域や関係団体との交流・連携	定期的に会合を開き連携を図っている。地域の教育機関や警察・消防などとも連携してイベントを実施した。	○
	利用者の苦情、要望等の対応	苦情、要望等の対応が適切だった。	○
	事業の実施状況	官民を含む多様な主体と連携しつつ、季節ごとに各種イベントを実施した。また地元産品を使用したメニューの開発を積極的に行い、店内で提供していた。	◎
	その他	店内情報コーナーを設け、地域の観光情報を発信していた。またホームページでの情報発信を強化し、来客数の増加を図った。	○
自主事業について	自主事業の適切な実施	安全対策に留意し、現在開催可能な季節に合わせたイベントを創意工夫しつつ実施した。	○
雇用・労働条件について	労働関係法令の遵守	労働関係法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がなされた。	○
収支状況について	収支決算状況	売上額はコロナ禍前の水準を上回った。 支出額も収入範囲内において適正に執行された。	○

【総合評価】 ※適正な管理運営を行ってきたかを記入する

管理運営については、要求水準に基づき、概ね適切に管理されている。
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種イベントの再開や情報発信に注力した結果、売上額・来客数ともに昨年度よりも増加した。
また、店内レイアウトを見直し、商品の種類や陳列に特に気を配り、売り上げの上昇につなげていた。

【指定管理者に対して行った指導助言の内容・今後の業務改善(向上)に向けた考え方】

・近隣の中勢グリーンパークのリニューアルオープンに伴い、公園利用者の来客が見込まれたため、屋外用のレクリエーション用品や玩具等を販売するように助言した。
・コロナの5類移行や中勢バイパスの全線開通によって増加が予想される利用者を対象に、地元産品を活用した道の駅「津かわげ」独自のメニューの開発に向けて適宜指導・助言した。現在も協議を継続中。